

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3
TEL.26-3600 FAX.24-1474



「番所庭園より新春の雑賀崎灯台を望む」

目次

新年ご挨拶 (和歌山支部長) …………… 2	外観と内容について考える …………… 8
新年ご挨拶 (和歌山税務署長) …………… 2	特別寄稿 …………… 9
年男・年女に当たる会員ご紹介 …………… 3	支部活動報告 …………… 10
新春放談会 …………… 4	委員会だより …………… 11
月は惑星 …………… 7	新入会員等ご紹介 …………… 11
T君の美しき思い出 …………… 7	

新年ご挨拶

和歌山支部長

岡田 泰介



新年明けましておめでとうございます。

平成 11 年の新春を迎えるに当たり、謹んで新春のお祝いを申し上げます。

会員の皆様には、常日頃会務運営にご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。お陰様で支部運営も順調に推移いたしております。

昨年は和歌山にとりましては、最低の年であったように思います。浅川組の倒産や毒カレー事件・和歌山市役所の搜索等悪い方で全国区になりました。しかし嬉しいこともありました。当支部会員の中北典夫先生が税理士功労で黄綬褒章を受賞されました。たいへんな荣誉で悦ばしい限りでございます。皆さんと共に喜びたいと思います。

ところで、政府の経済政策でも「税」を抜きに考えられない時代となりました。法人税の実効税率の引き下げ、又所得税の最高税率の引き下げと景気刺激に懸命です。一部には消費税の見直しも議論の対象となっています。おおいに期待をしたいものです。一方関西国際空港の二

期工事に伴う漁業補償交渉も大阪府知事の斡旋でようやく決着しました。それにともない JR 紀勢本線の特急「くろしお」の新大阪・京都両駅への全列車乗り入れや、第二阪和国道の延伸についても、話し合われています。早く実現してほしいものです。

ご承知のとおり、会計事務所を取り巻く環境も大きく変化してまいりました。従来の記帳代行や税務申告書の作成のみに頼ってはいは、21 世紀は生きていけません。赤字申告法人が全法人の 65.4% に達している現在では、節税対策よりも経営助言を要求されます。外圧による規制緩和で、現行法の税理士業務の「無償独占」が崩れる日も、そう遠い日ではなさそうです。

このような時代こそ 21 世紀の税理士業界のあるべき姿を思い浮かべ適確な判断を下せるよう、近税会や他士業団体より出来るだけ情報を収集し会員の皆様にお届けしたいと考えております。

また間もなく、平成 10 年分の所得税及び消費税の確定申告期並びに贈与税の申告期を迎えますが、本年も変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

新しい年、平成 11 年が会員にとりまして発展の年でありますよう、心から祈念致しまして、年頭のあいさつといたします。

新年ご挨拶

和歌山税務署長

武田 清明



新年あけましておめでとうございます。

近畿税理士会和歌山支部の先生方におかれましては、お健やかに平成 11 年の新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

会員の先生方には、平素から税務行政の円滑

な執行に対しまして深いご理解と多大なるご協力を賜っており心から厚くお礼を申し上げます。

お陰を持ちまして署務運営も順調に推移しており、ここに深く感謝申し上げます。

ところで、21 世紀を目前にしてわが国の経済社会は産業構造の変化や人口構成の変化、更には国際化や高度情報化など激動の時代にあります。

このような厳しい状況の中ではありますが、和歌山県下におきましては、京奈和自動車道の建設や紀淡海峡ルートの建設などのビッグプロ

ジェクトが目白押しであり、また、4月29日からは「南紀熊野体験博」が開催され和歌山県の地域経済活性化に寄与するものと大きな期待が集まっているところであります。

一方、税務行政面におきましては、直面する経済社会の構造変化や景気回復に対応すべく変革していくことが求められていることから、税制改革論議が進められているところであり、国民の税に対する関心も一段と高まっております。

このような状況の下、私ども税務に携わる者としましては、今後とも「適正・公平な課税の実現」と「期限内収納の確保」という課せられた使命の達成を図るため、経済情勢の変化を十分見据えた署務運営に配意し、納税者に信頼される税務行政の確立に努めなければならないと

考えております。

どうか近畿税理士会和歌山支部の先生方には税の専門家として税務行政の良き理解者として今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に申告納税制度の更なる発展に貢献していただくことをご期待申し上げます。

また、間もなく確定申告期を迎えることとなりますが、本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

終わりに臨み、新しい年が近畿税理士会和歌山支部のますますの御発展と、会員の先生方の御繁栄の年であることを祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

年男・年女に当たる会員

(入会順・敬称略)



木下 榮繁	伊達 妙子
浅見 實	村上 常一
田中 角衛	笹本 憲一
坂口 亀次	津田 英夫
橋野 正照	本田 壽秀
上村 一雄	前馬 幸夫
守安精一郎	松本 譽富
根木 茂	田村 哲雄

以上16名 おめでとうございます

🏮 新春放談会 🏮

新春卯年生れ大いに語る。——

司会 (中井広報委員) 明けましておめでとうございます。本日は卯年生れの皆様に大いに語りあって頂きたいと思います。お話し中に皆様の写真を岡野広報委員が撮らせて頂きますのでよろしくお願い致します。

それでは、支部長の挨拶からお願い致します。

岡田支部長 新年明けましておめでとうございます。

本日はお忙しいところを支部主催の「新春放談会」にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

20世紀もあと700日あまりとなりましたが、卯年生まれの皆様「今年の抱負」や「卯年の思い出」等について、仕事を離れて、子供に帰るもよし家族のことや日頃の夢をお聞かせいただくのを楽しみにして居ります。

最後になりましたが、本日ご出席の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして私のご挨拶といたします。

司会 では、只今から放談をお願い致します。

最初に本日ご出席頂いたなかでの、最高齢者にあられる上村先生から本日のテーマの「卯年のお正月」と題して順番をお願い致します。

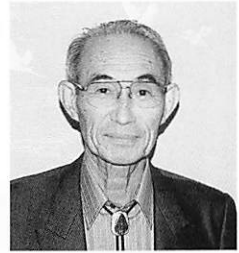
上村一雄会員 正月に対する感傷は年と共に変わってきます。子供の頃から「一年の計は元旦にあり」なんて父からハッパをかけられたが、先のこと



判るもんかと卯年生れらしく跳んだり跳ねたりで正月を過ごしました。青年期に入ると正月が待ち遠しく遊びに熱中し、時間を忘れて若さを楽しんだものです。壮年期になってからは、やっと仕事と生活に実が入り正月ものん気に過ごせなくなり、正月気分は味わえなかった。今考えてみるとこの時代

(四回目の卯年)が私の人生の頂点だったようです。その後は駄目人間だった今年の卯が七回目と思うと随分むだ飯を喰って来たように思われ、後何年続くのかつくづく考えます。

田中角衛会員 近畿税理士会和歌山支部の皆様、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いします。



恒例の如く除夜の鐘の鳴り終る迄に過ぎ行く年の思い出と新たに迎える年に幸多き事を念じつつ年越そばをいただき家族共々氏神である水門神社の初詣、おかぐらの奉納の音色と又そこでいただく神酒は格別な味わいを心身にもたらし新春を迎えた実感を抱き帰路につく。それからが楽しみの一つとして雪国へ向かっての夜間ドライブに出発。これが又私の健康バロメータと思ひ感謝の気持でハンドルを握るのであります。

田村哲雄会員 明けましておめでとうございます。本年もどうかよろしくをお願いいたします。



新しい年を迎えるにあたり十二支で言うひとまわり前の卯年(1987年)を振り返ってみますと、当時はバブル経済の真只中でありましたが、その経済対策を急ぎ過ぎた為かその二年余りの後には、バブル崩壊の過程を辿ると共に景気後退を加速させ、金融機関の多額の不良債権処理の先延ばし等に伴う金融システムの不安を助長させ、行政面での不祥事件の続発、その間、湾岸戦争やオウム凶悪事件の発生等、枚挙にいとまない程の事件が多発し、その上郷里和歌山でもマス・コミを賑わす事件が発生したりして、義憤を感じる事もありました。

私は老年者控除を受けられるようになった頃、

朝日新聞に連載された上坂冬子氏の「老いの周辺」をたまたま読んで相通じるものを感じ、作者の意図とは違っているかも知れないが、自分の都合のよい方に解釈し人に迷惑をかけぬよう、作者の「くだらないことはいまと言葉を呑み込めるか否かの瞬間で、人間の品位が決まる。」との語録だけは心得ているつもりで、ひっそりとそれなりに過ごしてきました。

津田英夫会員 近畿税理士会和歌山支部の皆さん。新年あけましておめでとうございます。



卯年生まれの小生にとっては、生受けて6回目の年男ということになり、しかも今年は、1999年で1900年代の最後の年で自分にとって、又人類にとって非常に思い出深き年になると思います。

古今東西「うさぎ」は、人様に可愛いと云う印象を与える動物で、十二支の中でも寅・辰・巳・亥などのように余り好ましからぬ動物（この年生まれの方は気を悪くしないでください）と違い何だか「平和」って感じがするではないですか？「うさぎのダンス」「バニーガール」「卯の花」なんて微笑ましい使われ方をしているのをもて老若男女を問わず昔から親しまれてきた動物です。卯年生まれの人間様も同様概して人に可愛がられ、世間に害を及ぼさなく生きている者が多いと思われる反面、昔話の「かちかち山」や「うさぎとかめ」のように他人に利用されやすく騙されやすい性格の者もいるようです。

本田壽秀会員 あけましておめでとうございます。今年1年についていえば、上半期（1～6月）は大変厳しく暗い状況（経済的にも社会的にも）と思っています。



そして下半期（7～12月）で、平成10年の

状況に戻るのではないのでしょうか。

しかし、景気回復というところまでは行かないような気がします。従って、卯生れの正月は、常に気を引き締めていく必要があると思います。

司会 ありがとうございます。それでは、テーマを変えまして「今年の抱負」について、今度は若い本田先生から順番にお願い致します。

本田 先ず、健康管理に気を配るということです。

48歳という年齢は人生の折り返し点であり、これから体力の衰えをなるべく遅くなるように体を鍛え、かつ健康管理に注意を払う。

仕事については、レベルアップを図るべく基礎から見直すつもりです。

大不況の中、各業界も大変厳しく、我々税理士業界も同様であり、特にここ2～3年は各業界の税理士に対する要求もレベルが高くなってきています。従って、記帳代行のみでなく、企業のニーズに対し、柔軟な対応が必要であると思っています。

津田 今年1年間の小生の生き方抱負として、今更天下国家を論じるとか、大金持ちになるとかいかって無理だし、又人格も性質もこの年（72才）で変わるものでもないの、今まで通り人様に迷惑をかけず「うさぎ」のように可愛がられて毎日を生きたいと思います。

唯一希望として小生の趣味であるゴルフで「エージシュート」（年令と同じスコア72で回ること）やってみたいね。

田村 本年の卯年は、政府の最大規模と云われる緊急経済対策の効果ある一刻も早い実施を期待し、旧年の暗い社会不安から脱して、兎飛びのような回復は無理であろうが、一步一步と確実に進む亀のように前進して行ける光明の見える社会の実現を祈り願うばかりであります。

人間の幸福とは「生涯健康であること」と読んだことがありますが、若い頃はともかく老年になってからは体に大した異状はなく健康で過ごせることに感謝し、少し忙しそうにしながらささやかなボランティア活動に従事している家

内を、本年は少しでも見習いたいものだと思っております。

田中 古くからよく言われてる様に健全なる精神は健全なる身体に宿るといふ諺こそ、この年齢になってしみじみと感じる今日此頃です。若い時には少々無理でも翌日に持ち越しはしなかった時代に戻ればとも思います。

でもそれは過去のこと、だれしも迎える老年時代、いかに自力で健康に過ごすことの出来るか、平成11年を迎えるに当り親しまれる良きお年寄りで行きたいと思えます。

上村 この年齢になって新しい人生を考へるなんてことは出来ないで他人の邪魔にならぬようそと生きて行きたいが、多少でも体が動き老人呆けにもならないうちは、出来れば少々でも世間のお役にたちたいなんて生意気に考へているが何時まで命が保つやら。

司会 様々なご意見ありがとうございました。そろそろ時間も迫りましたので、閉会へと進ませて頂きます。閉会の言葉は、高橋広報担当副支部長にお願い致します。

高橋副支部長 明けましておめでとうございます、新春早々の放談会にご出席を賜わり、楽しく語りあって頂き、有難うございました。話は尽きないのですが、予定の時間となりましたので、新しい年が、皆様方にとって、ご多幸の年でありますよう、心から祈念致しまして、本日の放談会は、これでお開きとさせていただきます。本日は有難うございました。

☆ ☆ ☆

本日ご出席できなかった卯年生れの会員からもコメントをいただいておりますのでご紹介させていただきます。

木下榮繁会員 明けましておめでとうございます。

お陰様で84才を迎えさせていただきました。

今後は節制に努め業務に精励し、少しでもお役に立つ様頑張りたいと存じます。

この上とも御指導賜ります様御願ひ申し上げます。

平均寿命越えて肩身が狭くなり

橋野正照会員 昭和に生れ、還暦が過ぎ平成の卯年の正月を迎える。

自然は人間の営みとは関係なく、一定のリズムで進んでいるのに加齢とともに一年が短く感じるのは私だけだろうか。

毎年廻ってくる正月を人生の節目として反省や計画を立てたりする。

去年は環境問題、景気等々騒々しい年であったが今年は卯の様な穏やかな年であってほしいものである。

せめて人の邪魔をせず、健康で趣味を楽しみ、少しでも役立つ事があれば、それに応えられる一年であってほしいと願っている。

守安精一郎会員 正月の行事、毎年元旦には初詣で、午後は高校時代の剣道部の新年会、2日は親戚一同の顔合わせに続いての新年会、3日か4日どちらか一日初ゴルフと、ここ20年来何の変りもない。だから卯生まれの正月だからといって特別にすることも、特別に思うこともなにもない。今年も例年どおりの行事が出来たなあと感謝するだけである。

このところ、阪和銀行の倒産、大型または中小企業の倒産、カレー事件そして市長の汚職とうんざりする事件ばかりが続いて来たから、今年、卯年こそは気持ちの明るくなるようなことが沢山起こればと祈り、個人としては健康であること、ゴルフボールがあと20ヤードよく飛ぶよう願うばかりである。



月は惑星

～小惑星は太陽の輪～

岡本繁男



本年は兎の年に当たり、月には濃淡の模様があつて「ウサギの餅つき」にみたてられたりしている。月は地球の衛星としては大きすぎ、地質も地球と異なるため、最初から地球の衛星として、誕生したものではなく、宇宙の何処からか飛んで来て地球にとらえられたものであろうと言われている。

月は地球の質量の八十一分の一もあつて大き過ぎる。月を除く太陽系の衛星はすべて、その母惑星の

質量の一万分の一以下である。月も小惑星の軌道にあつたが、10億年ぐらい前に軌道変更して地球に接近、とらえられたものである。

ボーデの法則にいう太陽系第五番目の惑星「月」であり、「小惑星は太陽の輪」である。土星や木星に輪があるのと同様の理由で、太陽も輪を持っている。

以上のことを私が発見したのは1992年1月3日である。

T君の美しい思い出

小山 弘

和歌山市北新金屋町に真宗高田派の崇賢寺がある。この寺は和歌山城の東北筋に当たっており、鬼門鎮護の寺で、田辺城主3万5千石の安藤帯刀直次公を祭る守護寺である。安藤帯刀は紀州徳川初代城主明君の誇れ高い徳川頼宣公の筆頭家老として有能の人であった。寺には大名級の五輪の宝塔ほか70余基の墓石があり厳然として林立し、夏草、古木が繁茂している。

T君の葬儀後のある日、奥さんが来家し、この寺のことに話題が移り、T君が死んだら、この寺のまとも納骨堂に納骨して欲しいとの遺言らしい発言があつたと聞く。その理由はT君の400年ぐらい前の先祖が紀州田辺の安藤家の名のある家来であつたとのことである。

そうすると、T君は自らの永眠の地をこの寺に安らぎの所を求め、主君一族の宗廟を選んだことになる。私は慄然となつた。彼には強い先祖愛、武士の血・心情が脈々と生きていたことである。この寺は安藤家一族並びに旧臣のみの寺で、無縁の人を受け入れない孤独な寺である。この面についての彼の話を聞か

かつたことが、今となって悔やまれる。

彼T君と私の関係は長く附属小学校の同期生(同じ組でなかつた)、和歌山中学校の同期生(同じ組でなかつた)、同校の8名部員遭難直後のボート部員、労災病院で昭和48年同時期入院、その後、土地の連続贈与のことで5年間奥さんと接触があつた。彼は旧制姫路高校、京大(中退)、教員を経て高校長を最後に年金生活の余生を送つた。若い頃には胸の病い、退職後は車椅子の生活で、諸病と我慢強く付合つた。彼は誇り高い孤高寡黙の男であり、2人の子に恵まれ、すばらしい夫婦仲であつた。

葬儀は酷暑の日、和歌山市内で挙行、ボート部員等同級生が参列した。読経後、お別れの供花となつた時、突然聞きなれない歌が放送され、2～3曲10分ぐらい式場にこだました。自ら演出した葬送の調べが彼の母校姫高の校歌、寮歌だったのである。

同年輩であるだけに私も血が燃える思いで青春時代を想起した。

長い闘病生活であつたが、彼は病に負けることなく、心に常に青春の心と歌と夢を持ち続けたのであろう。悔いのない人生、ロマンチックな詩情、そして悔いのない美しい死であつた。心から冥福を祈る次第である。

外観と内容について考える

福井 眞 八

富士山も冠雪を頂いて遠方から眺めた図は絵でも写真でも、綺麗だと思う。だが富士登山している人々の姿を身近に大きく捉えた様子は只の土塊で美しいと云うより、樹の無い裸の山に過ぎない。遠い処から少し雪で化粧した富士は姿、恰好が良く流石に日本一だと感心する。

すべて物事は富士山に限らず、傍観しているのが一番よいと思う。名優の舞台も三等席から見物していると、ひときわ晴れ立って細かい事は分らないから、化粧と衣裳でその上照明を当て、最も美化されているからであろうが、見物客は満足している。楽屋に戻って、衣裳を脱いで化粧を落せば、只の人である。むしろ付け睫や白粉を落すと却って普段よりも違和感を持つものと思われる。人工的に造り出した美は長続きせず、不自然さは隠し切れぬ。

此の年になって、造化の神は開花期だけは、自然の美しさを与えている事に気が付いた。二十歳前後の男女は面皷が治って思春期真っ只中にある時は身体全部に活気が漲って澀刺としている。若い時はその輝いているのに気付かず、就職、受験、又は恋愛とその方面に夢中で、社会的には未熟であるから、金銭的又は身分的に不満足を充たすべく、この事に捉われて、いつの間にか、自然の美しさを感じること無しに終わってしまった。私も旧制中等学校の卒業アルバムの写真を見ると、こんな顔をした時もあったのだと不思議に眺めるものである。今から想うと、その頃は敗戦と戦後の混乱期で衣、食、住すべて無く、特に食うことが一番痛切で異性より白い米の飯が一番渴望して腹一杯食い度いと希っていた。それで自分の青春期は食わんがために見送ってしまった事になる。今から考えると勿体ない。若い時は再び戻って来ないのにと、愚痴を云っても始まらない。

「人生で結婚をしても、しなくても後悔する

ものだ」と西洋の諺にある。例え食わんが為の青春であろうが、若さを發揮して充分に楽しんだとしても、到着点には変らない。むしろ変な抱り合い、例えば非嫡出子など無しに、平凡なる現在の方がよいと思うが、一面では物足りない気持が無い訳ではない。人間の感情は複雑に出来ている。人間は憧れを持っている時が一番幸せだと思う。

恋愛している時は、その相手の女性がとても良い、何もかも理想的に見えて来る。片想いの時は一層切実にそう思う。でも現実にそんな人は有り得ない。空想がそれを美化してそう思い込むだけで、現実に醒めると、馬鹿らしい事と思うだけでは済まされる場合はよいが、離婚問題や、相手によっては会社の金の使い込み等、大きい犠牲の伴う事も実際に起っている。私も士とつく肩書に憧れたものである。司法書士の方は、そう苦勞せずに成る事が出来たから別に大して心に残っていないが、税理士の方は30才台を合格のため、昭和の開花期であったと思われる昭和三十年代を受験の灰色生活に終わってしまったのは、成功出来たとはいえども、失われた若さは取り返せぬから残念に思う。東京オリンピックの頃を頂点として、朝鮮戦争以後景気が直直って、神武景気と云われて、華やかな時代で所得倍増のかけ声と共に、今から思い出すと実に佳い時代であった。芸能界にしても、映画が天然色二本立毎週入れ替り、歌謡曲も名曲を有名歌手輩出、その他浪曲、落語、万才と大衆芸能に至るまで桜が満開のように出揃った上に、給料、賞与も鰻上り、商売も好調で、日本国中よい景気に浮かれていた。その頃云わば、受験浪人の気持で醒めて勉強に打ち込んでいた。やっとの思いで合格して、開業の運びとなると、早や景気は薄曇り下り坂。本腰を入れて就業した頃にはオイルショック、最早昔のように回復せぬ儘平成の超不況。外観上富士山を眺めるように思われるが、私としては不本意の世の中を精一杯業務に努力して頑張っているに過ぎない。

特別寄稿

「インフォームド・コンセント」について思う

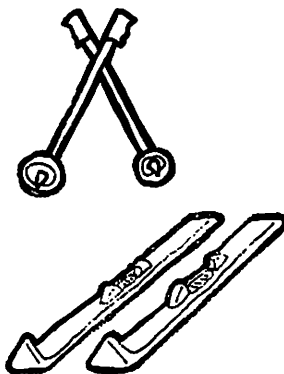
社会保険紀南総合病院内科人工透析部

根木茂雄

「インフォームド・コンセント (informed consent)」は日本においても数年前より新聞やテレビにおいてもしばしば見かけるようになり、ほとんどの方が御存知だと思う。物の本によるとこの用語が最初に使用されたのは1957年の米国において行われた医療過誤裁判であったとのことである。適切な日本語は見あたらないが、一般的には「説明と同意」と訳されることが多い。簡単に説明すれば、医師が患者に対して治療を行う際には、事前に症状や医療について十分患者に説明を行い、患者が望む医療を自由に選んでもらい、患者の納得の上で、選んだ医療行為を医師が実施することである。

しかし、日本においては国民性の違いなのか、患者は「病気のことは先生が一番良く理解しているのですから、先生にお任せします。」と言い、また、「いろいろ質問することは先生に対して失

礼である。」と考えているのか、受け身の治療となっている場合が多い。また、それが当然であると考えている医師も少なからずいることは事実である。したがって、形式だけのインフォームド・コンセントになり、患者はいくつかの選択肢を与えられずに結局、医師の説明した通りの医療行為を受け入れることとなることもあり得る。「俺に任しておけば間違いない。」的な医師は確かにある意味では頼もしく思えるかもしれない。自信なげに「・・・と治療はありますが、どれにします?」といわれるとこの先生に任せて本当に大丈夫かなと考えるのも当然である。しかし、病気になった場合、その病気について症状、治療方法、予後などについて知っておく権利があるのだから、できる限り、医師に質問し、明確な説明を得ることが大切であると思われる。病気を治すのは医師の仕事であるが、患者の体は患者自身のものであるのだから。



支部活動報告



9月1日 実務研修会 商工会議所



9月21日 拡大支部懇談会 紀の国会館



10月1日 「法の日」よるず無料相談会 和歌山市役所



10月2日 新入会員研修会 税理士会館



10月19日 ボーリング大会 和歌山インターボウル



11月4日 優良事業所見学会 三菱電機和歌山工場



11月11・12日 税を知る週間 無料相談 丸正百貨店



11月25日 年末調整説明会 県民文化会館



12月11日 実務研修会 華月殿



12月11日 年末懇談会 華月殿

委員会だより

■業務対策委員会

○3月19日 実務研修会実施

■厚生委員会

主な行事は平成10年中に終了しました。会員の皆様方のご協力ありがとうございました。

■税務指導対策委員会

- 平成10年分地区納税相談等の打ち合わせ
1月25日(月) AM10:00～12:00
於サンピア和歌山
- 税理士記念日の無料相談会開催
2月23日(火) AM10:00～4:00
於和歌山市勤労者総合センター
和歌山市西汀丁34(商工会議所北隣)

新入会員等ご紹介 (敬称略)

会員数 平成11年1月1日現在 227名

入会



瀬藤 啓司

平成10年11月18日
(事務所) 和歌山市関戸5-5-23

転入



柏木 道子 (泉佐野支部より)

平成10年11月17日
(事務所) 和歌山市小野町3-7

退会

瀬藤 達雄 (死亡)

平成10年9月14日

湯川 彌弘 (死亡)

平成10年12月19日

—謹んでお悔やみ申し上げます—

◆◆◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆◆◆

お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます

◆ 昨年の和歌山には多くの事件がありました。国内では平成不況はとどまるところを知らず、また国外では年末にイラクや朝鮮半島沖での砲火もあり、どのニュースも暗いものばかりでした。

新年は干支「兎」さんのようにピョンピョンと跳ねる、明るいよい年であるよう期待したいものです。

◆ 支部報「五十五万石」第7号発刊に当り、卯年生れの先生の新春放談会を企画して、記事を掲載させて頂きました。また、回を重ねる度に投稿して頂く方も多くなってまいりました。ご協力頂きました先生方にお礼を申し上げます。

本年が会員皆様にとって幸多き年でありますよう祈念いたします。

広報委員 高橋、岡野、中井 (典)

関与先企業の繁栄は私たちの喜び

Our Happiness is in the Prosperity of the Clients!



株式会社 **TKC** 和歌山情報サービスセンター 〒640-8392 和歌山市中之島1518 和歌山MIDビル11F ☎0734-36-8586

2月23日は税理士記念日です。



2月23日(火) 10:00~4:00 和歌山市勤労者総合センターに於いて無料相談会を開催します。

近畿税理士会和歌山支部

プロが選ぶ、
「プロの財務コンピュータ」。

“財務”と“税務”を究め、
2機種同時に新登場!



統合型会計処理システム“財務システムM”を搭載した
「プロの財務コンピュータ」

Accounting Processor EP30e 99.8万円

標準構成:本体ディスプレイ一体型(12.1インチTFTカラーLCD、CD-ROMドライブ、FDHドライブ)
通信モデム(Fax OCR対応)、ISDN対応高速シリアルポート内蔵、レーザープリンタLP10A、キーボード、マウス

JDL OS
Windows NT® Based

会計事務所必須の税務ソフトウェアを搭載した
「プロの財務コンピュータ」

Tax Partner EP30e

*Windows NT は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
*表示価格に消費税等は含まれておりません。



プロの財務コンピュータ



製品に関するお問い合わせ、資料請求は

株式会社 **日本デジタル研究所**

本社/〒136-8640 東京都江東区新砂1-2-3 ☎03(5606)3111(大代表) FAX.03(5606)4277

堺営業所/〒590-0074 堺市北花田口町3-1-15(東洋ビル4F) ☎0722(28)6751(代)

JDLホームページ
<http://www.jdl.co.jp>

資料請求券
近畿税理士会報
AP EP30e